

学校教育目標 **感じる つながる 自分から 未来を切り拓く御所南の子ども**  
 — ちがうって すてき ちがうって おもしろい —

めざす子ども像 (主体的に、持力を磨き、発揮することができる子ども)

- ・かながえぬく子 自ら進んで学び、自分事として、さまざまに考え抜き、判断し、表現できる子
- ・がんばりとおす子 自分で決めたことや協働することにくじけず、あきらめず行動し続ける子
- ・やさしさあふれる子 自己肯定感を育み、いつでもだれとでも思いやりをもって互いを認め合う子
- ・きたえつづける子 スポーツを愛し、自らの健康な体と心を育みチャレンジし続ける子

#### ◆自分に自信をもち、自分から意欲的に取り組む子どもを育てます

- (1) できる自分、できそうな自分を実感する。(キャリアパスポートの活用)
- (2) なりたい自分を明確にもち、失敗を恐れず挑戦する。(クラブ活動の充実)

#### ◆人とのつながりを大切に、思いやりのある子どもを育てます

- (1) あいさつ 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「よろしく」
- (2) かかわりあう子 認め合う子 「ありがとう」「ごめんなさい」「すごいわね」
- (3) 自分も友達も大切に子 「がんばってるね」「だいじょうぶ?」
- (4) 道徳科の重点項目を「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること『生命の尊さ』」に定め、月に1回『生命』に関する授業を行う。

#### ◆自他を尊重し、お互いを高め合う集団をつくと共に自ら律する力を育てます

- (1) 日直や当番活動、係活動など、常時活動を充実する。
- (2) 「かがやく御所南の子」の取組を基に、約束やルール・規律等を守ることを徹底する。
- (3) 善悪の判断をしっかりと、絶対いじめを許さない強い気持ちをもつ。
- (4) 多様性を認め、共に学びあえる。
- (5) 毎月の1週目に、「きずな週間」を設け、友達とのかかわりを考える。
- (6) みんなのために何ができるのかを考え、実行する。

#### ◆個に応じた指導と協働的な学びを大切に、主体的に学び続ける力をつけます

☆子ども主体の授業を進めます。(子どもが自分たちで進める授業 子どもが司会)

- (1) 学習課題を設定する → 学習のめあてを自分のものにする
- (2) 学習計画を立てる
- (3) ひとり学び → 個に応じた支援とICTの活用
- (4) グループ学習 → 自分の考えと友達の考えを見える化しながら協働的に学ぶ
- (5) 学級(学年)全体での学習→考えを出し合い学び合う 質の高い気付き
- (6) 確かになった自分の考えを書く。わかったことを自分の言葉で書く。
- (7) 学習を振り返る → 学習してわかったこと自分の言葉で書く。

#### ◆実践を通して、望ましい生活習慣を確立し、健やかな体をつくります

- (1) あらゆる友だちと運動の楽しさや喜びが味わえる体育学習の充実
- (2) みんなが楽しめる部活動(運動の裾野を広げる)
- (3) 家庭と連携して、「早寝 早起き 朝ごはん」「親子読書」の徹底
- (4) 食事、休養・睡眠など自ら健康に目を向ける取組  
スポーツテスト、生活アンケートの活用
- (5) 自らの命を守り抜くため、防災・安全に対する意識を高める取組  
年間5回の避難訓練(地震、火災の設定を現実に近いものにして行う。不審者侵入など)シェイクアウト  
交通安全教室や防犯教室、薬物乱用の防止教室、救命教室など実施

小中一貫教育目標 **未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造**  
 目指す児童・生徒像 夢とあこがれをもち、自ら未来を切り拓き、よりよい社会を創造していく児童・生徒

◎小中一貫教育により、9年間を通して子どもを育てる環境をつくりま

す つけたい力 自ら見つけ、自ら考え、学んだことを実社会や実生活に生かす力

○5・4制の実施と小中交流

- ・御所南小学校と御所東小・高倉小学校の6年生が、京都御池中学校校舎で学ぶ
- ・外国語活動・理科・図画工作科で、中学校教員と小学校教員の協同授業
- ・生徒会や委員会活動、リーダー研修等に参加



#### ◆読解力・探究力・論理的思考力を高め、確かな学力をつけます

- (1) 思考表現力を身につける。
  - ・考え方を身につける。(低:比較,分類,広める 中:関連付ける,共通点を見つける 高:推論する,多面的に見る)
  - ・考えたことを筋道立てて説明する。(考えの深化を図る)
- (2) 記述力を身につける。
  - ・表現様式をとらえ、目的意識と相手意識をもって様式に合わせて書く。
  - ・字数や時間を制限した中で、自分の考えを書く。
- (3) 読解の時間
  - ・1～6年は、15時間。(3年～6年はプラス1時間で 1・2年は、剰余時間で)
  - ・テキストの種類や働きをつかみ、読解力の基礎を養う。
- (4) 読書力の育成
  - ・朝の帯時間15分を、年間70回程度実施
  - ・「読書くらぶ」1年・3年15時間 2年5時間(剰余時間で)
- (5) 理科、音楽など、専門性を生かし、系統的に育む
  - ・6・5・4・3年では、音楽を専科教員が行う。
  - ・5・4・3年では、理科を専科教員が行う。
  - ・6年では、中学校教員と小学校教員による協同授業
- (6) グローバル化時代を生きるための実践的な英語力を身につける
  - ・3・4・5年では英語を専科教員が行う。6年は中学校教員と協同授業で行う
  - ・1～6年の系統的な英語活動(1・2年20H 3・4年35H 5・6年70H)
  - ・教科化にともなって9年間のカリキュラムの再構築



#### ◆本物に出会うことで学ぶ意欲を高め、探究力と豊かな人間性を育てます

【生活科や総合コミュニティ「かがやき」】探究力と生き方

- 1, 2年 …生活科で御苑の豊かな自然、まち探検。
- 3年～6年…(前期「伝統」) 伝統文化や伝統工芸など地域に学ぶ。  
(後期「創造」) 課題にそって考え、自己を創造する。

【宿泊学習や遠足】協働活動

- 1年 御苑ツアー 2年 大原稲刈り 3年, 梅小路公園
- 4年 琵琶湖疏水 5年 Logos Land
- 6年 修学旅行

#### ◆地域の力・保護者の力・学校の力をもとに地域に誇りをもち、よき町衆としての資質を育てます

- (1) 御所南コミュニティ(今年度22年目)
  - ・80人のボランティア・コーディネーター(地域の方, 保護者)
  - ・6つの部会に分かれて、子どもたちを支援
- (2) 300人のコミュニティ・ティーチャー
  - ・生活科や総合的な学習を中心に ・各方面の専門家による授業

